



アデコ 10月は業績が回復

- 2013年第3四半期は売上が改善し、堅調な利益率に -

[2013年11月6日 スイス、チューリッヒ]

第3四半期ハイライト（前年同期比）

- 売上高 為替変動の影響を除き、ほぼ同等
- 粗利率 80bps 増の 18.7%
- 販売管理費 2%減（為替変動の影響、事業再編費用を除く）
- EBITA 利益 2億7600万ユーロ（事業再編費用を除く）
- EBITA 利益率 事業再編費用を除き 5.5%、
過去に行った費用計上を見直したことがおよそ 50bps 貢献
- 純利益 61%増、一株あたりの利益は 71%増
- 4億ユーロの自社株買戻しを完了し、2億5000万ユーロ相当の自社株買戻しを開始

2013年第3四半期の主な数値

単位： 100万ユーロ	報告数値	報告数値 成長率	為替変動の影響を 除いた成長率
売上高	5,033	-5%	0%
売上総利益	942	-1%	5%
EBITA（事業再編費用を除く、金利 支払い、税引き、営業権償却前利益）	276	19%	25%
EBITA（金利支払い、税引き、営業 権償却前利益）	273	30%	38%
営業利益	263	33%	41%
当期純利益	191	61%	-

人財サービスのグローバルリーダーであるアデコグループ（本社：スイス）は本日、2013年度第3四半期の決算発表を行いました。売上高は為替変動の影響を除き前年同期比で同等の50億ユーロ、粗利率は80bps増の18.7%となりました。継続したコスト管理により、販売管理費は為替変動と事業再建費用の影響を除き2%減、EBITA利益率は事業再建費用の影響を除き5.5%となりました。過去に行った費用計上を見直したことがEBITAにおよそ50bps貢献しました。純利益は61%増の1億9100万ユーロ、一株あたりの利益は71%増の1.06ユーロとなりました。

以下はCEO、パトリック・デ・メスネールのコメントです。

「第3四半期は好調な結果を残すことができました。停滞していたヨーロッパの経済が回復し、派遣や請負といった労働力の需要が期待できます。第3四半期は多くのヨーロッパの国々で業績が回復し、特にイタリア、ドイツ、スペインは顕著でした。フランスでは売上減少速度は低下し、北米は堅調を維持しました。プライシングの管理と多様なビジネスラインにより粗利率は堅調な結果となり、販売管理費が前年同期比で減少したことで、これが利益率の向上につながりました。第3四半期は売上が横ばいになり、為替変動の影響を除く、除かないに関わらず、10月には売上が上昇に転じました。最近の傾向と2013年末から経済状況の好転が見込めることから、2015年のEBITA利益率5.5%を達成できると確信しています。」

第3四半期の日本の状況

為替変動の影響を除く売上高は5%減の2億7300万ユーロとなりました。売上は減少しましたが、利益率は回復しました。EBITA利益は1800万ユーロとなり、EBITA利益率は前年同期比の6.1%と比較し、6.5%となりました。